

歩きたくなるまちづくりに関する取組状況等について

「歩きたくなるまちづくり」の推進は、まちの魅力や安全性の向上だけでなく、区民の外出機会の増加による、人と人とがつながる新たな活力の創出や区民の健康増進等も期待できるなど、区が進める様々な施策にも波及効果を及ぼす効果的な取組である。

区では、街路や公園等の都市施設のほか、民有地も含めた公共的な空間等について、ウォークブルな環境整備を推進することにより、誰もが自然と歩きたくなる快適で魅力的なまちの実現を目指しているところであり、現在までの取組状況等について報告する。

1. 民間敷地へのベンチ等設置補助

令和7年度から民間敷地へのベンチ等設置補助を開始し、令和7年度は2か所に補助を行った（江古田二丁目、同三丁目）。

【令和7年度設置補助実績写真】

① 江古田二丁目



② 江古田三丁目



令和8年度は現時点で3か所において地権者等と調整している（弥生町六丁目、中央三丁目、中野二丁目）。

また、既に民間敷地で一般に開放されている休憩場所等についても、土地所有者等の理解が得られる場合は、区が作成したステッカーを貼付することで、さらなる利用環境の整備を進めていく。

【ステッカー】

民間敷地で一般に開かれている新規・既存ベンチに貼付



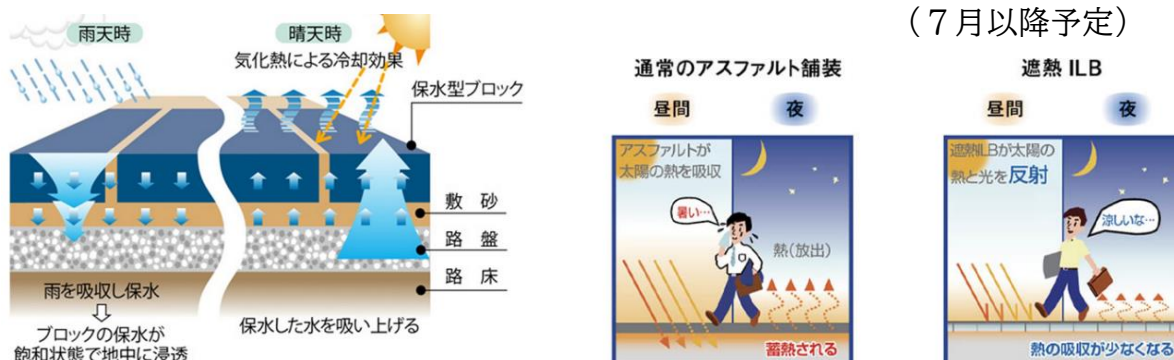
2. 歩きたくなるまちづくりに関する実験（令和8年度に新たに行うもの）

歩きやすく居心地の良い空間づくりに向け、中野四季の森通り及び中野駅北口周辺において、以下の実験を実施する。

【実施予定の実験】

○ 中野四季の森通りにおける歩道の暑熱対策事業（保水・遮熱舗装整備）

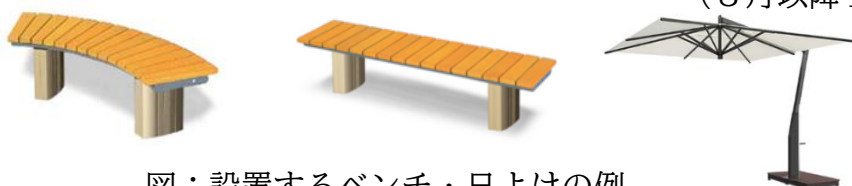
（7月以降予定）



図：保水・遮熱舗装（保水性 ILB、遮熱性 ILB）の効果の例

○ 中野四季の森通り周辺（道路・公園）及び中野駅北口広場周辺におけるベンチ・日よけ等設置

（8月以降予定）



図：設置するベンチ・日よけの例

※ ベンチ等設置の具体的な場所、日時、設置方法等の詳細は調整中であり、これ以外の場所で行う場合もある。

これらの実験をとおして、歩道の路面温度低減効果、利用人数や利用時間等の滞在状況、利用者の属性や利用方法などの利用実態、利用者アンケートによる快適性、周辺への波及実態、ルールや運用方法を含めた管理・調整の難易度等を把握する。

実験結果を検証した上、当該エリアに留まらず、広く区内の「歩きたくなるまちづくり」に活かしていく。